

弘前城鳥瞰復元図

イラスト：香川元太郎、文・監修：西ヶ谷恭弘

本図は延宝年間（1673～81）の弘前城を、南南西上空から見たもの。天守代用として改築される本丸辰巳櫓に取り、当時の外容が不明なため、改の御三階の姿とした。城郭は西側（図左）を流れる岩木川の段丘上に位置すことから、本丸を中心に南・東・北三方に形成される。南側段丘続きには長勝を配し、南と東側は水堀として、水を貯えておくために追手虎口と東門虎口ダム状の土橋を、東側には堀の内側に水戸遣いを設けた。図右上に描かれるのの一部は、東照宮別当寺兼王院をめぐる堀である。
『歴史街道スペシャル 名城を歩く6 弘前城』特別付録
©朝倉新聞社にて遠慮下さい

北門(亀甲門)

子の櫓跡(M39年焼失)

賀田御門跡

丑寅櫓

東門

本丸戌亥櫓跡

東内門

本丸辰巳櫓を改築
弘前城御三階(天守)

高岡城跡(1627年落雷焼失)
/本丸未申櫓跡

南内門

辰巳櫓

西の郭未申櫓跡(M39年焼失)

未申櫓

追手門

